

## 福浜議員 要望項目一覧

平成27年度11月補正分

要望項目	左 に対する 対応方針等
<p>1、高機能野菜&amp;酵素化の開発と雇用創出の実現に向けて            (背景) TPPによる影響を鑑みても、農産物の高付加価値化が喫緊の課題。            こうした中、本来野菜に含まれない、もしくはごく微量の栄養素を生産過程で高濃度に含有させる「高機能野菜」が注目されている。            (例) 「マルチビタミンB12かいわれ」⇒広島大学と民間農園が共同研究開発。            (例) 「ブロッコリースプラウト」⇒アメリカで開発。抗酸化作用やガン予防が期待されるスルフォラファンを通常の7～20倍、高濃度に含有したもの。            (概要) 「越野日栄アグリ研究所(本社:大阪)」が、栄養成分を『酵素化』する超高压加工装置の独占販売権を取得。            ・鳥取県で自治体・企業等と共同で「(仮称)鳥取県酵素化技術研究センター」を設立し、高機能野菜の生産と酵素化を行う「植物工場」設置を。            ・県内の特産品(例:ブロッコリー、白ネギ、シイタケ等)などの高機能化と酵素化を研究開発し、サプリメントや健康食品の原料等でビジネス展開を…。            注:地元の主体企業「A b e - R i s e (鳥取市:代表 渡辺昌子氏)」            (利点) 他地域に高機能野菜の生産事例はあるが、酵素化の生産拠点は無い。            ・無農薬による安全食材提供・天候に左右されず安定供給・生産の効率化、            ・エキス化で長期保存可能・障がい者含めた雇用拡大・農業生産者への技術普及            ・県民の健康長寿・介護予防増進に寄与など            (経費) 事業規模 およそ3億円 ⇒ 全額を国からの補助を</p>	<p>食品の高付加価値化に向けた研究開発及び事業化は、本県産業振興にとって重要な課題であると認識しており、例えば鳥取県産業技術センター食品開発研究所においては、農畜水産物の加工や機能性食品、バイオテクノロジーなど、農商工連携等の取組みにより付加価値の高い加工商品を生み出すための技術開発の支援を行っている。            提案いただいた栄養成分の酵素化及びそのビジネス展開については、今後関係者等を訪問して調査をし、必要な支援のあり方を検討したい。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>予定。</p> <p>*香川県三豊市・・・「越野日栄」「三豊市」「四国電気システム」3者で旧校舎で水耕栽培。レタス、ネギ等の葉物を年30回収穫し京阪神へ出荷。</p> <p>(需要) 高機能&amp;酵素化食材は健康サプリ企業が注目。健康志向。</p> <p>(要望) 「研究センター」への参画。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県または市町村所有の「土地・建物の物件貸与(提供)」。</li> <li>・県の担当部局を対象にした「説明会」の開催。</li> </ul>	
<p>2、鳥取港及び周辺沿岸のジェットスキーパーク化について</p> <p>(背景) 滞在型観光を促進する上で、鳥取県の自然を生かした誘客は今後の柱。このうち、鳥取港周辺に対するジェットスキー愛好者のニーズは高く山陽・関西方面からの愛好者が増える可能性が非常に大きい。</p> <p>*『砂丘沖』が業界紙に掲載「大絶賛！」</p> <p>(現状) 鳥取港には「県の規定」でジェットスキーの乗降可能なスロープがない。</p> <p>⇒過去、県外愛好者が駐車含め「マナー」守らず規制強化か？</p> <p>鳥取港至近の「湖山川」で乗降(協会加盟会員およそ100名)</p> <p>⇒近所から騒音クレーム・・・「協会会員」以外の行為</p> <p>(要望) 鳥取港ボートパーク(スロープあり)の「規制緩和」。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボートパーク至近駐車場に「無人ゲート」を設置。自由に乗降可能な環境設定へ。⇒「ジェットスキーパーク化」</li> <li>・ただし県外愛好者の「マナー違反」が懸念される。「立て看板設置」「遊域スペースの明確化」「協会による指導」</li> </ul> <p>(将来) 賀露海岸や白兔海岸を中心に展開の「すなばスポ</p>	<p>鳥取港では、賀露地区南野積場にスロープがあり、南野積場をジェットスキー置場として使用許可した者はここを乗降に利用することができる。</p> <p>千代地区新ボートパークについては、新設した平成16年当時、ジェットスキー利用者のマナーが問題となったことから、この新ボートパークでは利用できないこととしている。</p> <p>今後、未利用区画のある千代地区新ボートパークについて、ボートパーク利用者や地元関係者に意見を聞いて、港湾利用上の支障や対応等ジェットスキー利用について検討することとしたい。</p> <p>なお、港湾施設利用は有料が前提であり、利用者の安全確保や港湾管理上の問題も考えられることから、自由に入出りできる無人ゲートについては設置は困難である。</p> <p>また、港湾を利用する場合は、マナー遵守は利用者の責務であるが、注意喚起等の対策は行う予定である。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>ーツ」とタイアップ。  *すなばスポーツ：ビーチテニス、ビーチサッカー等  マリン・ツーリズムとして「海水浴」オフシーズンの誘客を図る。</p>	
<p>3、鳥取県文化振興財団「とっとりの芸術宅配便」講師オーディション実施  (現状) 新規の講師選定が平成24年度に実施されて以降、「3年間」開催されていない。財団に問い合わせると、その前が平成20年度で不定期実施となっている。  (要望) 文化芸術分野の振興のため誘致したアーティストの県内における活躍の場を拡げ、また県民の多様な芸術に触れる機会を増やすため、鳥取県文化振興財団に対し講師オーディションについて隔年実施の提案をお願いしたい。</p>	<p>とっとりの芸術宅配便事業は、(公財)鳥取県文化振興財団が、県民文化会館の指定管理事業の一環として同財団の提案に基づき行っているもので、小中学校の児童生徒に良質な文化芸術に触れてもらうことを趣旨としている。  同財団では、同事業の講師はオーディションで決めており、オーディションの実施時期については、新しいジャンル・講師の必要が生じた都度、実施することとしている。  オーディションの具体的な実施時期については、必要な講師の充足状況等を踏まえながら財団において判断されることとなるが、頂いたご意見を財団にお伝えするとともに、マンネリ化にならず優れた文化芸術に触れられるよう適宜同財団に働きかけていきたい。</p>